

オーストラリア・ 高配当株ファンド (毎月決算型) 【運用報告書(全体版)】

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2012年6月15日から2022年6月6日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 オーストラリア高配当株式マザーファンド オーストラリアの取引所に上場している高配当株式等
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策等を勘案して厳選します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 オーストラリア高配当株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

第16作成期 (2019年12月6日から2020年6月5日まで)

第 91 期 / 第 92 期 / 第 93 期
決算日2020年1月6日 決算日2020年2月5日 決算日2020年3月5日

第 94 期 / 第 95 期 / 第 96 期
決算日2020年4月6日 決算日2020年5月7日 決算日2020年6月5日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			株式組入率	投資信託比率	純資産総額
		(分配落)	税分	期騰落			
		円	円	%	%	%	百万円
第12 作成期	67期 (2018年1月5日)	8,380	70	3.9	62.7	34.8	7,728
	68期 (2018年2月5日)	8,069	70	△ 2.9	64.5	33.7	7,552
	69期 (2018年3月5日)	7,377	70	△ 7.7	63.2	33.6	7,056
	70期 (2018年4月5日)	7,243	70	△ 0.9	63.6	34.4	7,097
	71期 (2018年5月7日)	7,480	70	4.2	65.2	34.2	7,353
	72期 (2018年6月5日)	7,644	70	3.1	64.0	34.3	7,625
第13 作成期	73期 (2018年7月5日)	7,524	70	△ 0.7	66.4	31.1	7,303
	74期 (2018年8月6日)	7,492	70	0.5	67.2	31.6	7,058
	75期 (2018年9月5日)	7,279	70	△ 1.9	64.8	31.9	6,987
	76期 (2018年10月5日)	7,300	70	1.3	66.8	31.5	6,974
	77期 (2018年11月5日)	6,901	70	△ 4.5	66.1	32.1	6,531
	78期 (2018年12月5日)	6,921	50	1.0	64.8	33.8	6,520
第14 作成期	79期 (2019年1月7日)	6,285	50	△ 8.5	65.4	32.3	5,883
	80期 (2019年2月5日)	6,786	50	8.8	66.5	31.9	6,209
	81期 (2019年3月5日)	7,221	50	7.1	65.6	31.9	6,203
	82期 (2019年4月5日)	7,278	50	1.5	66.0	32.8	6,008
	83期 (2019年5月7日)	6,955	50	△ 3.8	64.2	34.7	5,236
	84期 (2019年6月5日)	6,801	50	△ 1.5	61.1	36.8	4,992
第15 作成期	85期 (2019年7月5日)	7,082	50	4.9	60.6	36.9	5,099
	86期 (2019年8月5日)	6,713	50	△ 4.5	59.8	38.8	4,713
	87期 (2019年9月5日)	6,522	50	△ 2.1	57.3	40.6	4,536
	88期 (2019年10月7日)	6,411	50	△ 0.9	54.8	43.3	4,401
	89期 (2019年11月5日)	6,806	50	6.9	54.5	44.3	4,616
	90期 (2019年12月5日)	6,606	50	△ 2.2	51.1	47.0	4,156
第16 作成期	91期 (2020年1月6日)	6,740	50	2.8	51.1	47.6	4,015
	92期 (2020年2月5日)	6,637	50	△ 0.8	52.5	44.7	3,838
	93期 (2020年3月5日)	5,970	50	△ 9.3	51.0	45.1	3,397
	94期 (2020年4月6日)	4,146	50	△ 29.7	54.5	40.6	2,355
	95期 (2020年5月7日)	4,469	50	9.0	55.4	40.3	2,540
	96期 (2020年6月5日)	5,574	50	25.8	53.8	43.5	3,187

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	株 式 組 入 率 %	投 資 信 託 証 券 率 %
			%		
第91期	(期 首) 2019年12月5日	6,606	—	51.1	47.0
	12月末	7,009	6.1	50.0	47.2
	(期 末) 2020年1月6日	6,790	2.8	51.1	47.6
第92期	(期 首) 2020年1月6日	6,740	—	51.1	47.6
	1月末	6,720	△ 0.3	52.8	44.2
	(期 末) 2020年2月5日	6,687	△ 0.8	52.5	44.7
第93期	(期 首) 2020年2月5日	6,637	—	52.5	44.7
	2月末	6,333	△ 4.6	51.8	44.2
	(期 末) 2020年3月5日	6,020	△ 9.3	51.0	45.1
第94期	(期 首) 2020年3月5日	5,970	—	51.0	45.1
	3月末	4,271	△28.5	54.3	40.1
	(期 末) 2020年4月6日	4,196	△29.7	54.5	40.6
第95期	(期 首) 2020年4月6日	4,146	—	54.5	40.6
	4月末	4,687	13.0	54.9	40.0
	(期 末) 2020年5月7日	4,519	9.0	55.4	40.3
第96期	(期 首) 2020年5月7日	4,469	—	55.4	40.3
	5月末	5,154	15.3	53.0	43.3
	(期 末) 2020年6月5日	5,624	25.8	53.8	43.5

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

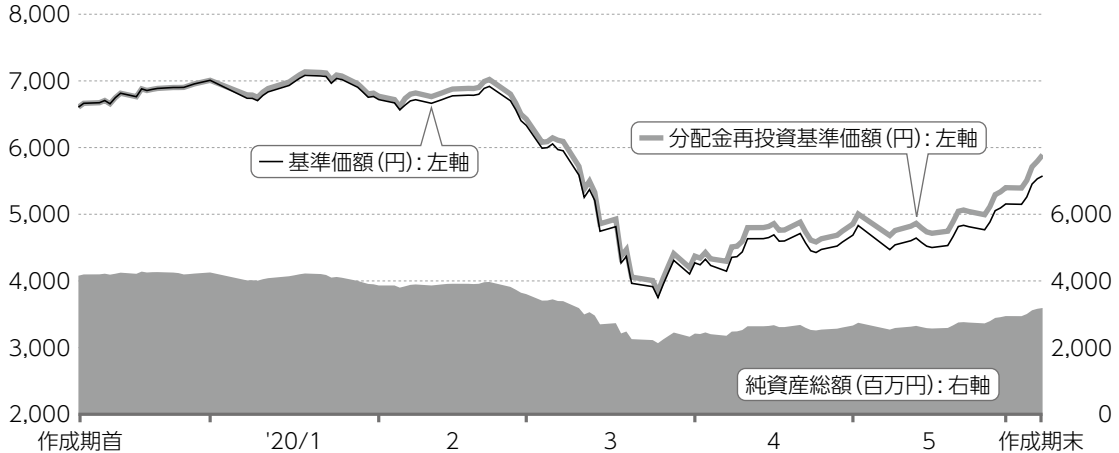
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,606円
作成期末	5,874円 (当作成期分配金300円(税引前)込み)
騰落率	-10.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 2020年3月後半から当作成期末にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の鈍化と経済活動再開の期待を背景に、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が堅調だったこと

下落要因

- 2月後半から3月後半にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれによる世界的な景気後退懸念から、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が急落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	作成期末組入比率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	外国株式	-10.1%	101.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

オーストラリア株式市場は、下落しました。為替相場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

オーストラリア株式市場

当作成期首から2020年2月中旬にかけて、オーストラリア株式市場は堅調に推移しました。米中貿易交渉の第一段階の合意を受け、世界景気の回復見通しが株式市場を押し上げました。また、オーストラリアの12月の主要な経済指標も概ね良好な内容だったことから、買い安心感が広がりました。しかしながら、2月下旬以降は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う世界景気の悪化懸念を背景に、オーストラリアを含む世界の株式市場では3月後半にかけて急落しました。

世界各国、中央銀行による追加金融緩和や財政支出の拡大などの政策対応を受けて、3月後半には世界的に株式市場が底打ちし、反転上昇に向かいました。欧米の新型コロナウイルスの新規感染者数や死者数の増加ペースが鈍化し始めたことに加えて、オーストラリア国内の新規感染者数が3月下旬にピークアウトした後、4月は減少傾向を続けたことも、オーストラリア株式市場の追い風となりました。作成期末にかけて、オーストラリア株式市場は堅調に推移しました。

当作成期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、作成期首に比べて9.3%下落しました。

為替市場

当作成期のオーストラリアドル・円相場については、作成期首から2月後半にかけて概ね横ばいの動きとなりました。その後、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大と株式市場の急落、金融市場の混乱が続く中、資源国通貨の性格が強いオーストラリアドルは米ドルや円に対して急落しました。3月にオーストラリア準備銀行が2度の利下げを行ったこともオーストラリアドルを押し下げる材料となりました。その後、世界的な株式市場の反転上昇とともに、金融市場ではリスク回避的なムードが後退し、オーストラリアドルは主要通貨に対して上昇しました。需給改善見通しを背景に鉄鉱石や原油などの商品市況が堅調だったことも、作成期末にかけてオーストラリアドルの上昇要因となりました。当作成期のオーストラリアドル・円は作成期首74円44銭から作成期末は75円66銭となり、1円22銭のオーストラリアドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を行いました。作成期を通して「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、作成期を通じて高位を維持しました。

●業種配分

業種配分については、REIT（不動産投資信託）など、業績の安定度が相対的に高いと判断される業種を多く組み入れました。また、世界景気の先行き不透明感を背景に商品市況の下落リスクが過度に織り込まれていると判断し、エネルギーや素材（鉱山）の組入比率を引き上げました。一方、オーストラリア国内景気の悪化による影響を強く受けやすいと判断し、金融の組入比率を引き下げました。

●個別銘柄

銘柄選択については、世界的な景気減速懸念の拡大を受け、株価の割安度が強まっ

ていると判断し、大手鉱山の「フォーテスキュー・メタルス・グループ」を追加購入しました。また、エネルギー銘柄の「オリジン・エナジー」を新規購入しました。液化天然ガス開発事業を手掛ける同社は、原油価格の下落により、株価は大幅に調整したものの、原油価格の下落を過度に織り込んでいると判断しました。一方、オーストラリア国内景気の悪化リスクによる業績見通しの不透明感が高まっていると判断し、保険や小売などの内需関連銘柄を売却しました。

●ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね5%台から6%台の水準を維持しました。

ベンチマークとの差異について（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ50円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	（0.736%）	（0.748%）	（0.831%）	（1.192%）	（1.106%）	（0.889%）
当期の収益	35	—	50	26	—	6
当期の収益以外	14	50	—	23	50	44
翌期繰越分配対象額	874	824	833	811	761	717

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を継続します。「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入比率は高位に保つ予定です。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

3月底値からの株価急回復により、オーストラリアを含む世界の株式市場は、2020年の年央から年後半にかけての景気、企業業績の回復を相当程度織り込んでいるものとみられます。米国株式市場の動きをみましても、一部に割高感、過熱感、高揚感の高まりを示す指標がみられることから、短期的には警戒感を持って株式市場に対峙し

たいと考えます。そうした中、主要先進国の長期金利は各国の中央銀行による金融緩和策が継続すると見込まれ、低位安定を予想します。低金利環境のもと、オーストラリア株式市場では、高配当利回り銘柄が選好されやすいとみています。

中期的にオーストラリア株式市場は堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別していく方針です。業績見通しの安定度が比較的高いとみられるR E I Tやインフラ関連銘柄に強気な方針で臨みます。

（2020年6月10日現在）

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 1万口当たりの費用明細（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	45円 (22) (22) (2)	0.797% (0.385) (0.385) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	7 (4) (3)	0.115 (0.068) (0.047)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (1) (0) (0)	0.028 (0.024) (0.003) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	54	0.940	

期中の平均基準価額は5,695円です。

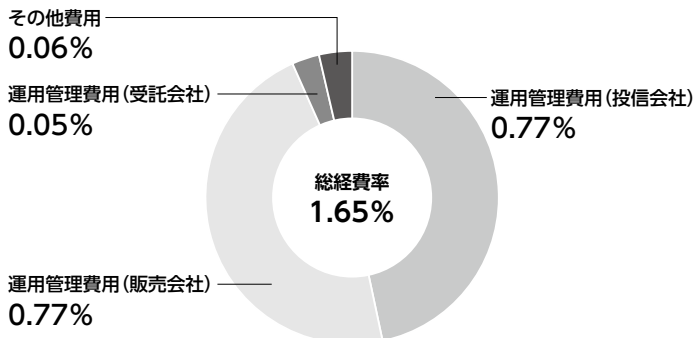
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.65%です。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 58,214	千円 112,599	千口 329,688	千円 720,199

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

項 目	当 作 成 期
	オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	1,365,319千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	2,250,701千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.60

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2020年6月5日現在）

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首		作 成 期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 1,860,190	千円 1,588,717	千口 3,219,694	千円 3,219,694

※オーストラリア高配当株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は2,178,812千口です。

※単位未満は切捨て。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 投資信託財産の構成

（2020年6月5日現在）

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 3,219,694	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,048	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	3,223,742	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（4,260,273千円）の投資信託財産総額（4,416,267千円）に対する比率は96.5%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=75.66円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年1月6日）（2020年2月5日）（2020年3月5日）（2020年4月6日）（2020年5月7日）（2020年6月5日）

項 目	第 91 期 末	第 92 期 末	第 93 期 末	第 94 期 末	第 95 期 末	第 96 期 末
(A) 資 産	4,136,130,929円	3,884,052,074円	3,433,499,880円	2,387,887,126円	2,572,281,507円	3,223,742,960円
コール・ローン等	7,787,584	5,671,709	1,399,121	1,094,179	442,250	3,315,904
オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	4,050,956,716	3,872,871,306	3,430,213,242	2,386,792,947	2,571,839,257	3,219,694,153
未 収 入 金	77,386,629	5,509,059	1,887,517	—	—	732,903
(B) 負 債	120,583,259	45,113,566	36,271,069	32,858,238	32,110,873	35,843,878
未払収益分配金	29,790,474	28,922,783	28,454,388	28,400,114	28,419,686	28,594,676
未払解約金	84,866,576	10,873,329	2,979,507	787,151	135,350	3,741,982
未払信託報酬	5,901,768	5,295,447	4,817,184	3,655,760	3,541,158	3,492,753
未払利息	22	16	4	—	—	—
その他未払費用	24,419	21,991	19,986	15,213	14,679	14,467
(C) 純資産総額(A-B)	4,015,547,670	3,838,938,508	3,397,228,811	2,355,028,888	2,540,170,634	3,187,899,082
元 本	5,958,094,916	5,784,556,776	5,690,877,742	5,680,022,993	5,683,937,203	5,718,935,276
次期繰越損益金	△1,942,547,246	△1,945,618,268	△2,293,648,931	△3,324,994,105	△3,143,766,569	△2,531,036,194
(D) 受 益 権 総 口 数	5,958,094,916口	5,784,556,776口	5,690,877,742口	5,680,022,993口	5,683,937,203口	5,718,935,276口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,740円	6,637円	5,970円	4,146円	4,469円	5,574円

※当作成期における作成期首元本額6,292,026,764円、作成期中追加設定元本額394,639,429円、作成期中一部解約元本額967,730,917円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 損益の状況

〔自2019年12月6日〕〔自2020年1月7日〕〔自2020年2月6日〕〔自2020年3月6日〕〔自2020年4月7日〕〔自2020年5月8日〕
〔至2020年1月6日〕〔至2020年2月5日〕〔至2020年3月5日〕〔至2020年4月6日〕〔至2020年5月7日〕〔至2020年6月5日〕

項 目	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 210円	△ 186円	△ 231円	△ 48円	△ 32円	△ 39円
支 払 利 息	△ 210	△ 186	△ 231	△ 48	△ 32	△ 39
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	114,004,340	△ 26,082,387	△ 345,913,671	△ 995,988,662	214,395,396	662,657,265
売 買 益	123,936,691	5,458,481	2,758,273	9,047,970	216,203,629	664,023,005
売 買 損	△ 9,932,351	△ 31,540,868	△ 348,671,944	△ 1,005,036,632	△ 1,808,233	△ 1,365,740
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,926,187	△ 5,317,432	△ 4,837,146	△ 3,670,961	△ 3,555,836	△ 3,507,220
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	108,077,943	△ 31,400,005	△ 350,751,048	△ 999,659,671	210,839,528	659,150,006
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 459,677,137	△ 363,415,139	△ 405,842,769	△ 774,073,122	△ 1,782,086,084	△ 1,565,220,741
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,561,157,578	△ 1,521,880,341	△ 1,508,600,726	△ 1,522,861,198	△ 1,544,100,327	△ 1,596,370,783
（配当等相当額）	(497,855,640)	(483,803,559)	(469,150,150)	(468,521,211)	(461,074,647)	(435,316,242)
（売買損益相当額）	(△ 2,059,013,218)	(△ 2,005,683,900)	(△ 1,977,750,876)	(△ 1,991,382,409)	(△ 2,005,174,974)	(△ 2,031,687,025)
(G) 計 (D + E + F)	△ 1,912,756,772	△ 1,916,695,485	△ 2,265,194,543	△ 3,296,593,991	△ 3,115,346,883	△ 2,502,441,518
(H) 収 益 分 配 金	△ 29,790,474	△ 28,922,783	△ 28,454,388	△ 28,400,114	△ 28,419,686	△ 28,594,676
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 1,942,547,246	△ 1,945,618,268	△ 2,293,648,931	△ 3,324,994,105	△ 3,143,766,569	△ 2,531,036,194
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,561,157,578	△ 1,528,821,809	△ 1,508,600,726	△ 1,530,813,230	△ 1,572,520,013	△ 1,621,534,098
（配当等相当額）	(497,895,912)	(476,871,092)	(469,353,953)	(460,756,994)	(432,651,735)	(410,180,731)
（売買損益相当額）	(△ 2,059,053,490)	(△ 2,005,692,901)	(△ 1,977,954,679)	(△ 1,991,570,224)	(△ 2,005,171,748)	(△ 2,031,714,829)
分 配 準 備 積 立 金	23,115,100	186,894	5,179,476	48,828	48,511	115,149
繰 越 損 益 金	△ 404,504,768	△ 416,983,353	△ 790,227,681	△ 1,794,229,703	△ 1,571,295,067	△ 909,617,245

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
(a) 費用控除後の配当等収益	21,131,268円	－円	33,446,126円	15,305,364円	－円	3,498,176円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	－	－	－	－	－	－
(c) 収益調整金	497,895,912	483,812,560	469,353,953	468,709,026	461,071,421	435,344,046
(d) 分配準備積立金	31,774,306	22,168,209	187,738	5,191,546	48,511	48,334
(e) 分配可能額(a + b + c + d)	550,801,486	505,980,769	502,987,817	489,205,936	461,119,932	438,890,556
1万口当たり分配可能額	924	874	883	861	811	767
(f) 分配金額	29,790,474	28,922,783	28,454,388	28,400,114	28,419,686	28,594,676
1万口当たり分配金額(税引前)	50	50	50	50	50	50

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

第16期（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月15日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率			
12期（2018年6月5日）	円	%		%	%	百万円
	22,093	0.1		63.3	34.0	8,825
13期（2018年12月5日）	21,298	△3.6		64.3	33.6	7,718
14期（2019年6月5日）	22,023	3.4		60.6	36.5	6,141
15期（2019年12月5日）	22,544	2.4		50.7	46.6	5,159
16期（2020年6月5日）	20,266	△10.1		53.3	43.0	4,415

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 率
		騰 落 率	率		
(期 首)	円	%		%	%
2019年12月5日	22,544	—		50.7	46.6
12月末	23,943	6.2		49.9	47.1
2020年1月末	23,157	2.7		52.8	44.1
2月末	22,016	△2.3		51.8	44.2
3月末	14,994	△33.5		54.2	40.0
4月末	16,678	△26.0		54.8	40.0
5月末	18,567	△17.6		52.9	43.3
(期 末)					
2020年6月5日	20,266	△10.1		53.3	43.0

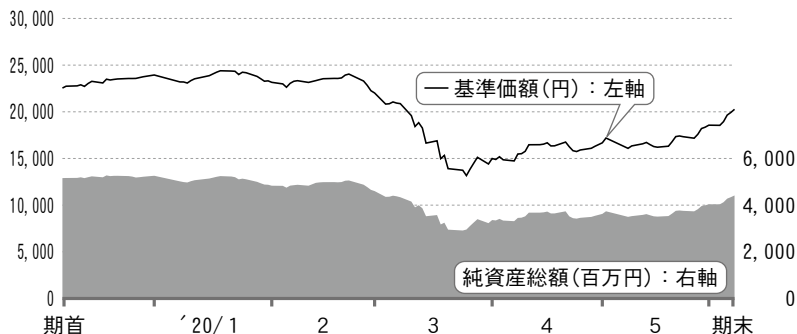
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

基準価額等の推移



期首	22,544円
期末	20,266円
騰落率	-10.1%

▶ 基準価額の主な変動要因（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

当ファンドは、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

・2020年3月後半から当期末にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の鈍化と経済活動再開の期待を背景に、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が堅調だったこと

下落要因

・2月後半から3月後半にかけて、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれによる世界的な景気後退懸念から、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が急落したこと

▶ 投資環境について（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

オーストラリア株式市場は、下落しました。為替相場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

オーストラリア株式市場

当期首から2020年2月中旬にかけて、オーストラリア株式市場は堅調に推移しました。米中貿易交渉の第一段階の合意を受け、世界景気の回復見通しが株式市場を押し上げました。また、オーストラリアの12月の主要な経済指標も概ね良好な内容だったことから、買い安心感が広がり

オーストラリア高配当株式マザーファンド

ました。しかしながら、2月下旬以降は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う世界景気の悪化懸念を背景に、オーストラリアを含む世界の株式市場では3月後半にかけて急落しました。

世界各国、中央銀行による追加金融緩和や財政支出の拡大などの政策対応を受けて、3月後半には世界的に株式市場が底打ちし、反転上昇に向かいました。欧米の新型コロナウイルスの新規感染者数や死者数の増加ペースが鈍化し始めたことに加えて、オーストラリア国内の新規感染者数が3月下旬にピークアウトした後、4月は減少傾向を続けたことも、オーストラリア株式市場の追い風となりました。期末にかけて、オーストラリア株式市場は堅調に推移しました。

当期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、期首に比べて9.3%下落しました。

為替市場

当期のオーストラリアドル・円相場については、期首から2月後半にかけて概ね横ばいの動きとなりました。その後、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大と株式市場の急落、金融市場の混乱が続く中、資源国通貨の性格が強いオーストラリアドルは米ドルや円に対して急落しました。3月にオーストラリア準備銀行が2度の利下げを行ったこともオーストラリアドルを押し下げる材料となりました。その後、世界的な株式市場の反転上昇とともに、金融市場ではリスク回避的なムードが後退し、オーストラリアドルは主要通貨に対して上昇しました。需給改善見通しを背景に鉄鉱石や原油などの商品市況が堅調だったことも、期末にかけてオーストラリアドルの上昇要因となりました。当期のオーストラリアドル・円は期首74円44銭から期末は75円66銭となり、1円22銭のオーストラリアドル高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて（2019年12月6日から2020年6月5日まで）

株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

業種配分

業種配分については、REIT（不動産投資信託）など、業績の安定度が相対的に高いと判断される業種を多く組み入れました。また、世界景気の先行き不透明感を背景に商品市況の下落リスクが過度に織り込まれていると判断し、エネルギーや素材（鉱山）の組入比率を引き上げました。一方、オーストラリア国内景気の悪化による影響を強く受けやすいと判断し、金融の組入比率を引き下げました。

個別銘柄

銘柄選択については、世界的な景気減速懸念の拡大を受け、株価の割安度が強まっていると判断し、大手鉱山の「フォーテスキュー・メタルズ・グループ」を追加購入しました。また、エネルギー銘柄の「オリジン・エナジー」を新規購入しました。液化天然ガス開発事業を手掛ける同社は、原油価格の下落により、株価は大幅に調整したものの、原油価格の下落を過度に織り込んでいると判断しました。一方、オーストラリア国内景気の悪化リスクによる業績見通しの不透明感が高まっていると判断し、保険や小売などの内需関連銘柄を売却しました。

ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね5%台から6%台の水準を維持しました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年12月6日から2020年6月5日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

3月底値からの株価急回復により、オーストラリアを含む世界の株式市場は、2020年の年央から年後半にかけての景気、企業業績の回復を相当程度織り込んでいるものとみられます。米国株式市場の動きをみましても、一部に割高感、過熱感、高揚感の高まりを示す指標がみられることから、短期的には警戒感を持って株式市場に対峙したいと考えます。そうした中、主要先進国の長期金利は各国の中央銀行による金融緩和策が継続すると見込まれ、低位安定を予想します。低金利環境のもと、オーストラリア株式市場では、高配当利回り銘柄が選好されやすいとみています。

中期的にオーストラリア株式市場は堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別していく方針です。業績見通しの安定度が比較的高いとみられるREITやインフラ関連銘柄に強気な方針で臨みます。

(2020年6月10日現在)

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年12月6日から2020年6月5日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	22円 (13) (9)	0.113% (0.067) (0.046)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)	0.025 (0.025) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	27	0.138	

期中の平均基準価額は19,892円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年12月6日から2020年6月5日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株 17,050	千オーストラリアドル 9,528	百株 18,670	千オーストラリアドル 9,263

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 投資信託証券

		買 付		売 付		
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額	
外国	オーストラリア	MIRVAC GROUP	口 千オーストラリアドル -	口 千オーストラリアドル 330,000	1,069	
		TRANSURBAN GROUP	-	90,000	1,423	
		DEXUS	40,000	361	-	
		SYDNEY AIRPORT	50,000	419	400,000	2,397
		SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GR	200,000	437	-	
		CHARTER HALL LONG WALE REIT	500,000	2,321	-	
		NATIONAL STORAGE REIT	-	-	1,500,000	3,372
		CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE REIT	620,000	1,305	-	
合 計	1,410,000	4,844	2,320,000	8,262		

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年12月6日から2020年6月5日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,365,319千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,250,701千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.60

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年12月6日から2020年6月5日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年12月6日から2020年6月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年6月5日現在)

(1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円		
AUST AND NZ BANKING GROUP LT	1,300	700	1,344	101,740	銀行	
WESTPAC BANKING CORPORATION	400	400	727	55,019	銀行	
FORTESCUE METALS GROUP LIMITED	500	2,400	3,504	265,112	素材	
BHP GROUP LTD	600	700	2,541	192,305	素材	
ORIGIN ENERGY LIMITED	—	4,000	2,464	186,426	エネルギー	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	400	600	4,059	307,149	銀行	
RIO TINTO LIMITED	300	350	3,444	260,573	素材	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP LT	1,535	535	331	25,105	保険	
SUNCORP GROUP LTD	2,039	2,039	1,951	147,644	保険	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	314	314	594	45,005	銀行	
JB HI-FI LTD	450	—	—	—	小売	
QBE INSURANCE GROUP LIMITED	2,200	700	618	46,765	保険	
TABCORP HOLDINGS LIMITED	2,000	2,000	690	52,205	消費者サービス	
ALUMINA LTD	6,500	16,000	2,688	203,374	素材	
WOODSIDE PETROLEUM LTD	500	800	1,853	140,243	エネルギー	
WHITEHAVEN COAL LTD	6,000	—	—	—	エネルギー	
MACQUARIE GROUP LTD	360	240	2,820	213,379	各種金融	
SOUTHERN CROSS MEDIA GROUP LIMITED	5,000	—	—	—	メディア・娯楽	
AURIZON HOLDINGS LTD	800	800	385	29,174	運輸	
ORORA LTD	3,000	4,000	1,092	82,620	素材	
SOUTH32 LTD	4,000	—	—	—	素材	
合 計	株 数 銘柄 数	38,198 20	36,578 17	31,110 —	2,353,845 <53.3%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

(2) 外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		期		末
		口	数	評 価 額		組 入 比 率
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)		口	口	千オーストラリアドル	千円	%
MIRVAC GROUP		330,000	—	—	—	—
TRANSURBAN GROUP		238,122	148,122	2,204	166,758	3.8
CHARTER HALL RETAIL REIT		160,000	160,000	540	40,916	0.9
APA GROUP		180,000	180,000	2,086	157,841	3.6
ALE PROPERTY GROUP		290,000	290,000	1,423	107,732	2.4
STOCKLAND		850,000	850,000	3,264	246,954	5.6
DEXUS		40,000	80,000	765	57,925	1.3
GROWTHPOINT PROPERTIES AUS		687,418	687,418	2,240	169,552	3.8
SYDNEY AIRPORT		600,000	250,000	1,525	115,381	2.6
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GR		—	200,000	472	35,711	0.8
CHARTER HALL LONG WALE REIT		150,000	650,000	2,782	210,486	4.8
NATIONAL STORAGE REIT		2,400,000	900,000	1,687	127,676	2.9
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTRUCTURE REIT		200,000	820,000	2,066	156,343	3.5
RURAL FUNDS GROUP		1,166,665	1,166,665	2,403	181,835	4.1
SCENTRE GROUP		491,570	491,570	1,219	92,236	2.1
AVENTUS GROUP		200,000	200,000	430	32,533	0.7
合 計	証 券 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	7,983,775 15	7,073,775 15	25,110 —	1,899,887 <43.0%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

オーストラリア高配当株式マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2020年6月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	2,353,845	53.3
投 資 証 券	1,899,887	43.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	162,535	3.7
投 資 信 託 財 産 総 額	4,416,267	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産（4,260,273千円）の投資信託財産総額（4,416,267千円）に対する比率は96.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=75.66円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年6月5日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	4,416,267,778円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	158,464,013
株 式(評価額)	2,353,845,208
投 資 証 券(評価額)	1,899,887,784
未 収 配 当 金	4,070,773
(B) 負 債	737,077
未 払 解 約 金	732,903
そ の 他 未 払 費 用	4,174
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	4,415,530,701
元 本	2,178,812,525
次 期 繰 越 損 益 金	2,236,718,176
(D) 受 益 権 総 口 数	2,178,812,525口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,266円

※当期における期首元本額2,288,492,073円、期中追加設定元本額302,014,183円、期中一部解約元本額411,693,731円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）	1,588,717,139円
オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）	73,987,915円
SMAM・オーストラリア高配当株ファンド（適格機関投資家専用）	516,107,471円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2019年12月6日 至2020年6月5日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	115,971,634円
受 取 配 当 金	116,013,822
支 払 利 息	△ 42,188
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 517,449,621
売 買 益	322,384,792
売 買 損	△ 839,834,413
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,077,099
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 402,555,086
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,870,582,294
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	226,350,650
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 457,659,682
(H) 計 (D+E+F+G)	2,236,718,176
次 期 繰 越 損 益 金(H)	2,236,718,176

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。